

ヒメマルミズムシ

Paraplea indistinguenda (Matsumura)
カメムシ目・マルミズムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では1か所でしか採集されておらず、分布は局所的である。今回の調査では採集されなかった。本種の生息できる湿地や池が少なくなっていることや、環境の変化による影響を受けやすい。

種の特徴

体長は1.5～2mmの微小な種。淡黄色で全身は顕著な刻点でおわれている。

分布

県内では南越前町の1か所の記録のみである。今回の調査では確認されなかった。

生息を脅かす要因

本種の生息できる湿地や池が少なくなっていることや、環境の変化、化学薬品等による影響が懸念される。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、宮本 (1965)、日浦 (1993)、都築ら (2000)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○									

ナベブタムシ

Aphelocheirus vittatus Matsumura
カメムシ目・ナベブタムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生息場所が局所的であり、河川の改修工事に伴う環境の変化により、その個体数、分布域は減少してきているものと考えられる。

種の特徴

体長は8.5～10mm。砂れきの多い溪流底にすみ、トビケラ類の幼虫を吸食する。体色の変化が大きく淡褐色～全体が黒色のものまで幅広い。普通は無翅だが、長翅型のものもみられる。

分布

県内は小浜市、敦賀市、池田町、南越前町で確認されているものの、その分布は局所的であり、生息場所も限定されている。

生息を脅かす要因

河川、用水路等のコンクリート三面張り化により、個体数、分布域は年々減少しているものと思われる。また、農業等の影響も懸念される。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、宮本 (1965)、日浦 (1993)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○		○	○								

オオコオイムシ

Appasus major Esaki
カメムシ目・コオイムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

環境悪化に伴い近年個体数は県内全域で減少傾向にある。

種の特徴

体長23～26mmで近縁種コオイムシよりもやや大型であるが、大きさだけでコオイムシと区別するのは危険である。丘陵地～山地の湿地に生息すると一般に言われるが、県内では平地でも見つかる。他の水生動物類を捕食する。

分布

琉球列島を除く国内全域に分布する。県内の分布域を市町村単位でみた場合は、本種は嶺南～嶺北まで広く生息地がある。しかし、実際に生息する水域は限られている。

生息を脅かす要因

湿地の消失やアメリカザリガニ、オオクチバスといった外来種の侵入、農業散布による生息環境悪化等が挙げられる。

参考文献 菊部・高桑 (1994)、川合・谷田 (2005)、内山 (2005)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○				○					○		○		○	○	